

新富町男女共同参画に関する町民意識調査

アンケート調査の概要

1 調査の目的

「新富町男女共同参画計画」を策定するにあたり、町民の意識や実態を把握し、今後の男女共同参画行政の施策に反映させるための基礎資料とするため

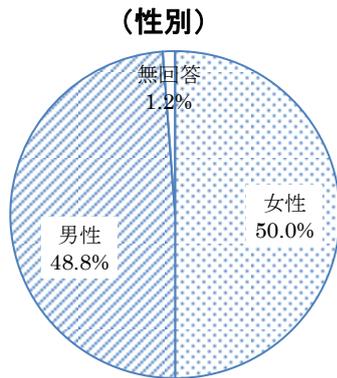
2 調査の設計と内容

- ① 調査地域 新富町
- ② 調査対象 新富町在住の20歳以上の男女1,000人(男女各500人)
- ③ 抽出方法 無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布・郵送回収(一部直接持ち込み)
- ⑤ 調査期間 平成24年11月9日～11月30日
- ⑥ 調査内容 男女平等意識、家庭生活及び結婚・家庭観、仕事と生活の調和と地域活動、就業、政策決定への参画、人権への配慮、男女共同参画施策 等
- ⑦ 回収状況 回収数(有効回収率) 344(34.4%)

※ここで表示している集計結果は、すべて無回答を含む回答者を集計母数としていますので、本編中の分析数値とは異なっているものがあります。

はじめに、あなた自身のことについてお聞かせください。

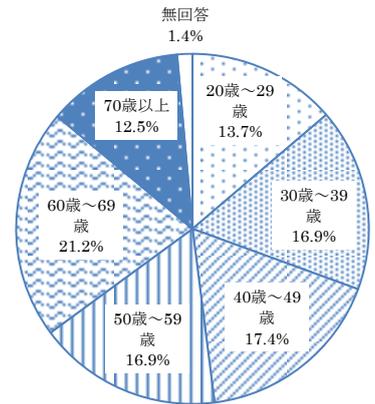
(1) あなたの性別は、



(2) あなたの年齢は、次のどれにあたりますか？ (%)

選択項目	全体	女性	男性
20歳～29歳	13.7	11.6	16.1
30歳～39歳	16.9	17.4	16.6
40歳～49歳	17.4	19.8	15.5
50歳～59歳	16.9	19.2	14.9
60歳～69歳	21.2	20.9	22.0
70歳以上	12.5	10.5	14.9
無回答	1.4	0.6	0

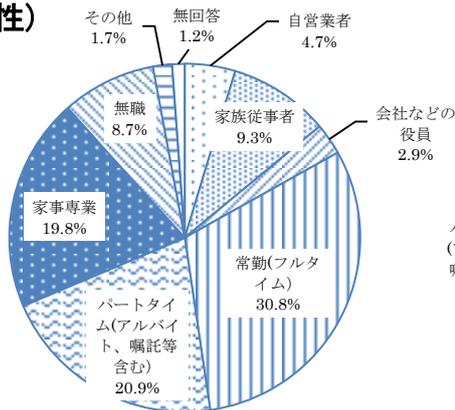
(年齢構成)



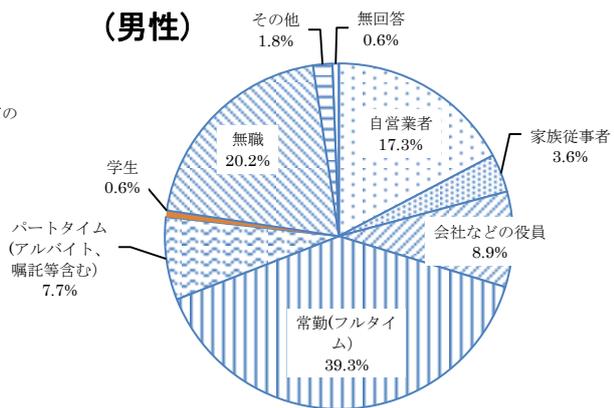
(3) あなたの職業について、お尋ねします。

選択項目	自営業者	家族従事者	会社などの役員	常勤(フルタイム)	パートタイム(アルバイト、嘱託等含む)	学生	家事専業	無職	その他	無回答
全体	10.8	6.4	5.8	34.6	14.2	0.3	9.9	14.2	1.8	2.0
女性	4.7	9.3	2.9	30.8	20.9	0.0	19.8	8.7	1.7	1.2
男性	17.3	3.6	8.9	39.3	7.7	0.6	0.0	20.2	1.8	0.6

(女性)



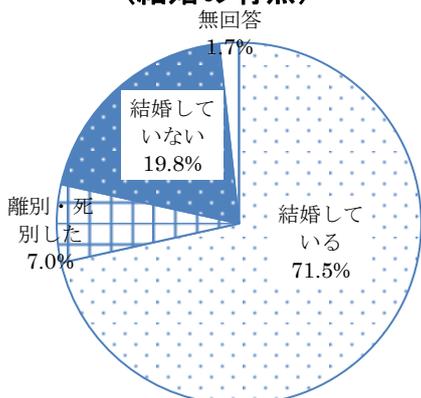
(男性)



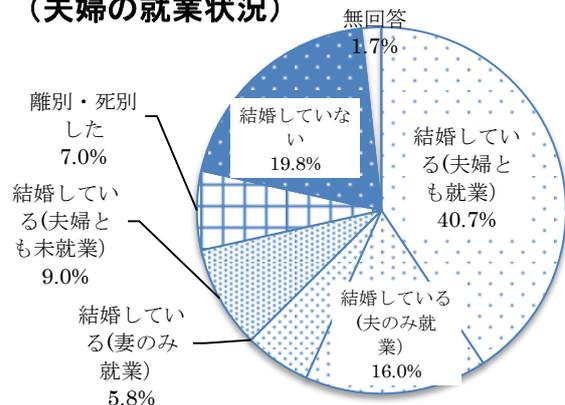
(4) あなたは結婚されていますか。(結婚には、入籍していない事実婚も含みます。)(%)

選択項目	結婚している				5.離別・死別した	6.結婚していない	無回答
	1.結婚している(夫婦とも就業)	2.結婚している(夫のみ就業)	3.結婚している(妻のみ就業)	4.結婚している(夫婦とも未就業)			
全体	40.7	16.0	5.8	9.0	7.0	19.8	1.7
女性	45.3	15.1	4.1	8.7	8.7	16.9	1.2
男性	36.9	17.3	7.7	9.5	5.4	23.2	0.0

(結婚の有無)



(夫婦の就業状況)

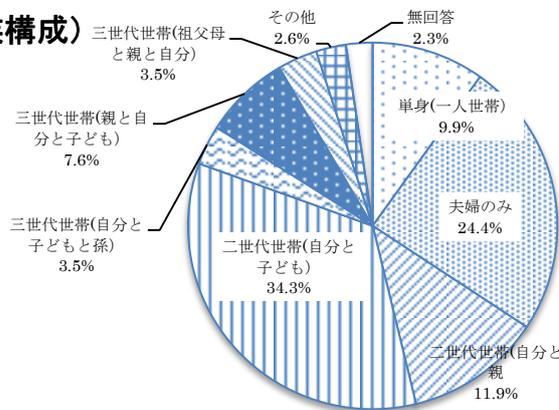


(5) あなたのご家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。

(%)

	単身 (一人世帯)	夫婦のみ	二世代会 帯(自分と 親)	二世代会 帯(自分と 子ども)	三世代会 帯(自分と子 どもと孫)	三世代会 帯(親と自分と 子ども)	三世代会 帯(祖父母と親 と自分)	その他	無回答	
全 体	9.9	24.4	11.9	34.3	3.5	7.6	3.5	2.6	2.3	
女 性	20歳~29歳	5.0	15.0	50.0	15.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	30歳~39歳	6.7	0.0	20.0	53.3	0.0	6.7	10.0	3.3	0.0
	40歳~49歳	2.9	0.0	8.8	64.7	0.0	17.6	2.9	2.9	0.0
	50歳~59歳	6.1	36.4	3.0	33.3	6.1	6.1	0.0	6.1	3.0
	60歳~69歳	11.1	55.6	0.0	19.4	8.3	5.6	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	22.2	44.4	0.0	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	合 計	8.1	25.0	11.6	37.2	2.9	7.6	3.5	2.3	1.7
男 性	20歳~29歳	33.3	3.7	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	7.4	0.0
	30歳~39歳	10.7	10.7	7.1	60.7	0.0	7.1	0.0	3.6	0.0
	40歳~49歳	11.5	7.7	23.1	42.3	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
	50歳~59歳	8.0	28.0	20.0	28.0	0.0	12.0	0.0	4.0	0.0
	60歳~69歳	5.4	32.4	2.7	32.4	10.8	10.8	0.0	2.7	2.7
	70歳以上	4.0	64.0	4.0	16.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合 計	11.9	24.4	12.5	32.1	4.2	7.7	3.6	3.0	0.6

(家族構成)

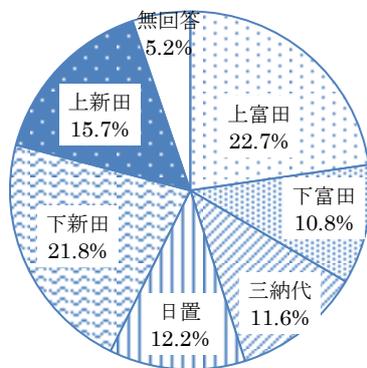


(6) あなたはどちらにお住まいですか。

(%)

	上富田	下富田	三納代	日置	下新田	上新田	無回答
全体	22.7	10.8	11.6	12.2	21.8	15.7	5.2
女性	23.8	13.4	11.6	12.8	19.2	14.5	4.7
男性	22	8.3	11.9	11.9	25	17.3	3.6

(居住地)



1 男女平等意識について

問1 あなたは、男女平等や女性の地位向上に関心がありますか。(%)

選択項目	非常に関心がある	まあまあ関心がある	あまり関心がない	ほとんど関心がない	全く関心がない	無回答
全体	12.8	52.0	26.8	4.1	2.3	2.0
女性	15.1	54.6	24.4	4.7	0.6	0.6
男性	10.7	50.0	29.2	3.6	4.2	2.3

男女平等や女性の地位向上について関心を持つ割合は、「非常に関心ある」、「まあまあ関心がある」を合わせて64.8%と比較的高い数字を示している。

問2 あなたは、次にあげるような分野で、男女は平等になっていると思いますか？(〇は1つずつ)

(%)

		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	どちらともいえない	無回答
①家庭生活の場では	全体	7.5	44.5	32.0	6.1	0.3	9.0	0.6
	女性	12.8	47.7	27.3	4.1	0.0	8.1	0.0
	男性	2.4	41.1	36.9	8.3	0.6	10.1	0.6
②職場では	全体	12.5	37.2	28.2	7.8	1.5	8.4	4.4
	女性	15.1	45.4	22.1	5.2	0.0	9.3	2.9
	男性	9.5	29.2	34.5	10.7	3.0	7.7	5.4
③学校教育の場では	全体	2.6	12.8	55.5	5.8	0.6	17.5	5.2
	女性	4.1	18.6	53.5	2.3	0.6	16.9	4.0
	男性	1.2	7.1	58.3	9.5	0.6	17.3	6.0
④地域社会(町内会、自治会など)では	全体	7.8	37.2	28.2	8.4	1.5	13.7	3.2
	女性	11.1	43.6	20.3	6.4	0.6	16.3	1.7
	男性	4.8	30.4	36.3	10.7	2.4	11.3	4.1
⑤法律や制度の上では	全体	6.4	29.7	37.2	8.4	3.2	11.6	3.5
	女性	9.9	40.1	24.4	7.0	1.2	14.0	3.4
	男性	3.0	19.6	50.0	10.1	5.4	8.9	3.0
⑥社会通念・慣習・しきたりなどでは	全体	18.6	53.8	15.1	2.6	0.3	8.1	1.5
	女性	25.6	54.1	8.7	0.6	0.6	8.7	1.7
	男性	11.9	53.6	21.4	4.8	0.0	7.7	0.6
⑦社会全体では	全体	9.9	53.8	17.7	4.1	1.5	11.3	1.7
	女性	13.4	62.2	9.3	1.7	0.6	11.0	1.8
	男性	6.0	46.4	26.2	6.5	2.4	11.3	1.2

各分野での男女平等は、「平等である」と回答した人がすべての分野において男性が女性を上回っている。また、「学校教育の場」を除くすべての分野において、女性は男性優遇感を持つ割合が5割を超えており、特に「社会通念・慣習・しきたりなど」及び「社会全体」では男女とも男性優遇感を持つ人の割合が高くなっている。「法律や制度上」では、男性では平等であると回答した人が4割に対し、女性は男性優遇との回答が5割を占め、意識の違いが出た。

(※男性優越感は、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)

問3 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、あなたが最も重要と思われることは何でしょうか？

(〇は1つだけ)

(%)

	全体	女性	男性
1. 法律や制度の面で見直しを行い、男女差別につながるものを改める	12.2	7.6	17.3
2. 女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改める	29.4	26.2	33.3
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る	20.6	23.9	16.7
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る	21.8	30.2	13.1
5. 政府や企業などの重要な役割に一定の割合で女性を登用する 制度を採用・充実させる	11.4	8.7	14.3
6. その他	1.7	1.7	1.8
無回答	2.9	1.7	3.5

女性は「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」が30.2%と最も多いが、男性は「女性を取り巻く様々な偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改める」との意見が33.3%と最も多い。

2 家庭生活及び結婚・家庭観について

〈現在、結婚されている方（事実婚を含む）におたずねします。〉

→それ以外の方は、問5へお進みください。

問4 あなたの家庭では、現在、次にあげるような家庭内の仕事を主にどなたがしていますか？（〇は1つずつ）（％）

		主に夫	主に妻	夫婦とも同 じくらい	主に夫で 妻が一部	主に妻で 夫が一部	夫婦以外 の家族	該当が ない	無回答
① 家計を支える（生活費を稼ぐ）	全体	46.3	2.8	28.5	17.9	0.0	0.0	1.2	3.3
	女性	48.4	4.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.8	3.9
	男性	44.2	1.7	28.3	21.6	0.0	0.0	1.7	2.5
② 掃除、洗濯、食事の支度などの家事	全体	1.2	67.5	8.5	2.0	15.9	1.2	0.0	3.7
	女性	1.6	73.8	7.1	0.8	11.1	1.6	0.0	4.0
	男性	0.8	60.8	10.0	3.3	20.8	0.8	0.0	3.5
③ 日々の家計の管理をする	全体	3.3	68.3	8.1	0.8	6.1	0.0	10.1	3.3
	女性	3.2	73.0	7.9	0.0	4.8	0.0	7.9	3.2
	男性	3.3	63.3	8.3	1.7	7.5	0.0	12.5	3.4
④ 育児、子どものしつけ	全体	2.0	31.3	22.4	0.8	13.8	0.8	20.3	8.6
	女性	2.4	38.9	19.0	0.0	12.7	1.6	17.5	7.9
	男性	1.7	23.3	25.8	1.7	15.0	0.0	23.3	9.2
⑤ 学校行事に参加	全体	2.0	31.3	13.0	1.6	13.0	0.4	28.5	10.2
	女性	0.8	41.3	10.3	0.8	12.7	0.8	24.6	8.7
	男性	3.3	20.8	15.8	2.5	13.3	0.0	32.5	11.8
⑥ 地域行事に参加	全体	33.3	13.0	24.8	12.6	4.5	0.8	6.5	4.5
	女性	27.0	19.8	26.2	10.3	4.7	0.8	5.6	5.6
	男性	40.0	5.8	23.3	15.0	4.2	0.8	7.5	3.4
⑦ 親の世話・介護	全体	3.7	22.0	19.1	1.6	4.9	0.8	39.8	8.1
	女性	4.0	27.0	19.0	0.8	4.0	0.8	35.7	8.7
	男性	3.3	16.7	19.2	2.5	5.8	0.8	44.2	7.5
⑧ 高額の商品や土地・家屋の購入決定	全体	30.9	4.5	45.1	3.2	0.0	0.4	11.0	4.9
	女性	31.0	4.8	48.4	2.4	0.0	0.8	7.1	5.5
	男性	30.8	4.2	41.6	4.2	0.0	0.0	15.0	4.2
⑨ 家庭の問題における最終的な決定	全体	34.6	5.7	45.9	8.1	0.8	0.4	0.8	3.7
	女性	31.8	7.1	47.6	7.1	0.8	0.8	0.8	4.0
	男性	37.5	4.2	44.2	9.2	0.8	0.0	0.8	3.3

〈すべての方におたずねします。〉

問5 理想としては、次にあげるような家庭内の仕事をどのように分担するのがよいとお考えですか。（〇は1つずつ）（％）

		主に夫	主に妻	夫婦とも 同じくらい	主に夫で 妻が一部	主に妻で 夫が一部	無回答
① 家計を支える（生活費を稼ぐ）	全体	29.7	0.6	39.2	28.2	0.6	1.7
	女性	26.7	1.2	41.9	27.9	0.6	1.7
	男性	32.1	0.0	37.5	28.6	0.6	1.2
② 掃除、洗濯、食事の支度などの家事	全体	0.0	26.2	44.8	2.0	25.3	1.7
	女性	0.0	23.8	45.3	1.2	27.9	1.8
	男性	0.0	27.4	45.2	3.0	22.6	1.8
③ 日々の家計の管理をする	全体	1.7	50.3	33.1	0.9	10.5	3.5
	女性	1.2	48.2	34.3	1.2	11.0	4.1
	男性	1.8	53.0	32.7	0.0	10.1	2.4
④ 育児、子どものしつけ	全体	0.6	9.3	77.3	1.2	5.2	6.4
	女性	0.6	5.2	84.3	1.2	4.7	4.0
	男性	0.6	12.5	72.0	1.2	6.0	7.7
⑤ 学校行事に参加	全体	0.9	8.4	72.5	2.6	8.4	7.2
	女性	1.2	8.1	78.5	1.2	6.4	4.6
	男性	0.6	8.3	67.3	4.2	10.7	8.9
⑥ 地域行事に参加	全体	10.2	1.7	71.8	10.2	2.6	3.5
	女性	9.9	1.2	75.0	8.7	2.3	2.9
	男性	9.5	2.4	69.6	11.9	3.0	3.6
⑦ 親の世話・介護	全体	0.6	5.2	78.2	0.6	8.7	6.6
	女性	0.0	3.5	82.6	0.6	8.1	5.2
	男性	1.2	7.1	75.0	0.6	9.5	6.5
⑧ 高額の商品や土地・家屋の購入決定	全体	16.0	2.6	69.5	8.4	0.0	3.5
	女性	15.1	1.7	69.8	9.9	0.0	3.5
	男性	16.1	3.6	70.2	7.1	0.0	3.0
⑨ 家庭の問題における最終的な決定	全体	20.3	2.3	65.1	9.3	0.3	2.7
	女性	18.0	1.7	68.0	8.7	0.6	3.0
	男性	22.0	3.0	63.1	10.1	0.0	1.8

「家事」や「家計の管理」については、3割から4割の人が夫婦が同程度分担することを理想と考えているが、現状では夫婦が同程度分担している人の割合は1割未満にとどまっている。一方、「家計を支える」ことについては、理想・現状ともに「主に夫」の分担とする人の割合が高く、6割程度となっている。「育児、子どものしつけ」、「学校の行事に参加」、「地域の行事に参加」「親の世話・介護」、については、夫婦が同程度分担することを理想と考える人の割合が7割を超えているが、現状では妻が分担している割合が高くなっている。

問6 あなたは次にあげるような子どものしつけや教育について、どのようにお考えですか。(〇は1つずつ) (%)

		賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	どちらと もいえない	無回答
① 女の子も男の子も同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ	全体	75.3	18.0	1.5	0.0	3.2	2.0
	女性	75.0	19.2	1.7	0.0	2.4	1.7
	男性	76.2	16.7	1.2	0.0	4.1	1.8
② 男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけさせるほうがよい	全体	71.2	23.0	0.6	1.2	2.6	1.5
	女性	75.6	19.8	0.6	0.6	1.7	1.7
	男性	66.7	26.2	0.6	1.8	3.6	1.1
③ 男女にはそれぞれの役割があるので、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい	全体	22.7	26.2	13.1	9.9	27.0	1.1
	女性	14.0	26.7	13.4	12.2	33.1	0.6
	男性	31.5	25.6	13.1	7.8	20.8	1.2
④ 男の子は理科系、女の子は文科系に進んだほうがよい	全体	1.2	2.9	11.6	40.4	41.3	2.6
	女性	0.6	3.5	9.9	48.8	34.3	2.9
	男性	1.8	2.4	13.7	32.1	48.2	1.8

「女の子も男の子も同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育が必要だ」および「男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など、生活に必要な技術を身につけさせるほうがよい」との考え方については、賛成派の割合が9割を超えているが、「男の子は理科系、女の子は文科系に進んだほうがよい」との考え方については、全体では反対派が5割を超えている。「男女にはそれぞれの役割があるので、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたほうがよい」との考え方については、賛成派が全体で5割を超えており、特に男性で賛成派が多い。

問7 あなたは、結婚、家庭、離婚についてどうお考えですか。(〇は1つずつ) (%)

		賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	どちらと もいえない	無回答
① 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい	全体	32.6	18.6	17.2	8.4	20.9	2.3
	女性	36.0	18.6	17.5	5.8	19.2	2.9
	男性	29.8	19.0	16.7	10.7	22.6	1.2
② 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	全体	21.2	16.6	20.1	12.8	26.7	2.6
	女性	22.7	15.7	17.4	9.3	31.4	3.5
	男性	20.2	17.9	22.6	16.1	22.0	1.2
③ 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい	全体	4.9	17.2	21.8	24.4	29.7	2.0
	女性	4.7	11.6	21.5	30.2	29.1	2.9
	男性	5.4	22.6	22.0	19.0	30.4	0.6
④ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	全体	4.7	14.0	21.8	26.7	30.8	2.0
	女性	3.5	11.6	21.5	30.8	30.2	2.4
	男性	5.4	16.7	22.0	22.6	32.1	1.2
⑤ 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	全体	11.6	12.8	20.3	17.5	35.5	2.3
	女性	12.2	12.2	17.4	16.3	39.0	2.9
	男性	11.3	13.7	22.6	18.5	32.7	1.2

「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」との考え方には賛成派が多い。「女性は結婚したら、夫や子どもなど家庭を中心とした生活がよい」、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」、「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」との考え方については反対派が多くなっている。

3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）と地域活動について

問8 仕事と家庭生活などのバランスについて、現在のあなたの状況は次のどれに当てはまりますか。（〇は1つだけ）（%）

	全体	女性	男性
1. 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している	15.1	12.8	17.9
2. 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている	30.5	24.4	36.9
3. 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させている	21.5	19.2	23.8
4. 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている	10.5	16.3	4.8
5. 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している	6.7	10.4	2.4
6. わからない	12.8	14.0	11.3
無回答	2.9	2.9	2.9

問9 理想としては、仕事と家庭生活や地域活動などのバランスについて、次のどれが望ましいと思いますか。（〇は1つだけ）（%）

	全体	女性	男性
1. 家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念している	2.0	1.7	2.4
2. 家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させている	27.6	23.8	30.9
3. 家庭生活又は地域活動と仕事を同じように両立させている	49.1	46.5	52.4
4. 仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させている	11.6	15.1	8.3
5. 仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念している	2.6	3.5	1.2
6. わからない	5.0	7.6	2.4
無回答	2.1	1.8	2.4

「家庭・地域活動よりも仕事に専念」を希望する人は男女とも2%程度であるが、現状では男女とも仕事に専念している人が10%を超えている。また、「家庭・地域活動と仕事を同じように両立」を希望する人は5割程度だが現状では約2割にとどまっており、希望と現状に差がみられる。

問10 一般に、男女が共に仕事と家庭生活や地域活動の両立を可能とするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）（%）

	全体	女性	男性
1. 給与等の男女間格差の解消	11.3	10.3	12.4
2. 労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及	15.7	17.4	13.9
3. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備（代替要員の確保など）	17.7	18.5	16.9
4. 育児や介護のために退職した職員の復職又は再就職が可能となるような制度の導入	10.6	9.6	11.4
5. 柔軟な勤務制度の導入（在宅勤務やフレックスタイム制度など）	9.4	9.9	9.2
6. 金銭面での支援の充実（出産一時金や育児休業・介護休業中の手当の増額など）	7.9	7.3	8.4
7. 保育・介護サービスの向上（保育・介護施設の充実や保育・介護時間の延長など）	11.6	12.1	10.9
8. 男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識の解消	9.9	9.6	10.2
9. 家庭や学校における男女平等教育	4.4	3.7	5.2
10.その他	0.4	0.5	0.2
無回答	1.2	1.1	1.3

男女とも「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境の整備（代替要員の確保など）」が必要と考える人の割合が最も高く、次いで「労働時間の短縮及び休暇制度の充実・普及」、「保育・介護サービスの向上（保育・介護施設の充実や保育・介護時間の延長など）」、「給与等の男女間格差の解消」の順となっている。

問11 あなたは次のような地域活動をしていますか。(〇はいくつでも) (%)

	県・町の 審議 会・委員 会	地区・自 治会等 の活動	PTA 活動	こども会 などの青 少年育成 活動	青年団体・ 女性団体・ 老人団体等 の活動	消費者団 体・生活協 同組合等の 消費者活動	NPOやボ ランティア などの市民 活動	その他の社 会活動(具 体的に)	参加して いない	無回答	
全体	3.0	44.6	14.1	11.4	7.5	1.2	10.5	3.9	38.0	4.2	
女性	20歳~29歳	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0	85.0	0.0
	30歳~39歳	3.3	33.3	26.7	23.3	0.0	3.3	0.0	0.0	43.3	6.7
	40歳~49歳	2.9	44.1	47.1	26.5	8.8	0.0	11.8	0.0	17.6	5.9
	50歳~59歳	6.1	63.6	6.1	0.0	12.1	0.0	6.0	0.0	27.3	0.0
	60歳~69歳	5.6	50.0	5.6	2.8	5.6	2.8	19.4	0.0	36.1	2.8
	70歳以上	5.6	27.8	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	11.1	50.0	16.7
	全体	4.1	40.7	16.9	11.0	6.4	1.7	8.7	1.7	39.0	4.7
男性	20歳~29歳	0.0	29.6	3.7	3.7	11.1	0.0	7.4	7.4	59.3	0.0
	30歳~39歳	0.0	28.6	28.6	10.7	21.4	0.0	14.3	10.7	32.1	7.1
	40歳~49歳	0.0	53.8	15.4	34.6	3.8	0.0	15.4	0.0	23.1	0.0
	50歳~59歳	0.0	80.0	12.0	12.0	4.0	4.0	16.0	12.0	20.0	0.0
	60歳~69歳	2.7	62.2	2.7	5.4	0.0	0.0	10.8	2.7	29.7	0.0
	70歳以上	4.0	20.0	0.0	0.0	12.0	0.0	8.0	4.0	44.0	12.0
	全体	1.2	46.4	10.1	10.7	8.3	0.6	11.9	6.0	34.5	3.0

男女とも参加している活動は「地区・自治会活動」が最も高く4割程度となっているが、参加していない人の割合も4割弱で、年代別では、特に20代の女性では85.0%が「参加していない」と回答している。

問12 あなたの地域では次のような慣習等がありますか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. 役員や催し物の企画などの決定は、主に男性がする	22.5	19.9	25.4
2. 集会などにおいては、男性が上座に座る	9.8	10.4	9.4
3. 祭りや葬儀などは、男性が取り仕切る	21.2	19.5	22.7
4. 清掃、草刈りなどの地域の作業には女性が主に参加する	3.8	5.9	1.7
5. 集会でのお茶くみ、調理等は女性がする	29.8	31.3	28.6
6. その他(具体的に)	2.7	2.9	2.4
無回答	10.2	10.1	9.8

地域での慣習では「集会でのお茶くみ、調理」は女性で、「役員や催しの企画決定」や「祭り葬儀の取り仕切り」は男性と回答した割合が高くなっている。

4 就業について

(現在働いている方におたずねします)

問13 あなたの職場では、次にあげるような分野で、性別によって差があると思いますか。(〇は1つずつ) (%)

		男性の方が非 常に優遇され ている	どちらかとい えば男性の方 が優遇されて いる	平等である	どちらかとい えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	どちらとも いえない	無回答
①募集・採用	全体	4.0	26.0	36.4	2.0	2.0	16.6	13.0
	女性	2.5	19.5	37.3	2.6	1.7	20.3	16.1
	男性	5.4	31.8	35.7	1.6	2.3	13.2	10.0
②賃金	全体	5.3	23.5	47.4	0.0	0.4	11.7	11.7
	女性	8.5	22.0	42.3	0.0	0.0	13.6	13.6
	男性	2.3	24.8	51.9	0.0	0.8	10.1	10.1
③仕事の内容	全体	3.6	13.8	39.3	11.3	2.8	17.0	12.2
	女性	4.2	13.6	37.3	7.6	1.7	21.2	14.4
	男性	3.1	14.0	41.1	14.7	3.9	13.2	10.0
④昇進・昇格	全体	9.3	27.1	31.2	0.8	0.4	18.2	13.0
	女性	11.9	23.7	28.0	0.8	0.8	19.5	15.3
	男性	7.0	30.2	34.1	0.8	0.0	17.1	10.8

⑤能力評価（業績評価・人事考課など）	全体	3.6	20.7	40.1	1.2	0.4	20.6	13.4
	女性	5.1	22.9	32.2	1.7	0.8	23.7	13.6
	男性	2.3	18.6	47.3	0.8	0.0	17.8	13.2
⑥研修の機会や内容	全体	2.4	12.1	55.9	0.0	0.8	16.2	12.6
	女性	3.4	13.6	50.8	0.0	0.8	17.8	13.6
	男性	1.6	10.9	60.4	0.0	0.8	14.7	11.6
⑦育児・介護休暇など休暇の取得しやすさ	全体	0.0	1.6	24.7	24.3	16.2	20.6	12.6
	女性	0.0	0.0	22.9	23.7	14.4	25.4	13.6
	男性	0.0	3.1	26.4	24.8	17.8	16.3	11.6

「昇進・昇格」では男性優遇感をもつ人の割合が高く、一方「育児・介護休暇など休暇の取得しやすさ」では女性優遇感をもつ人の割合が高くなっている。平等であると感じる人の割合は、「研修の機会や内容」、「賃金」、「能力評価」、「仕事の内容」で高くなっている。

〈すべての方におたずねします〉

問14 一般的に、女性の就業について、あなたはどのような考えをお持ちですか。（〇は1つだけ） (%)

選択項目	1. 女性は仕事をもたない方がよい	2. 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい	3. 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい	4. 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい	5. 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい	6. その他（具体的に）	無回答
全体	0.6	4.4	4.4	40.4	38.7	7.5	4
女性	20歳～29歳	0.0	0.0	0.0	45.0	25	0.0
	30歳～39歳	3.3	3.3	6.7	56.7	26.7	0.0
	40歳～49歳	0.0	0	2.9	47.1	32.4	2.9
	50歳～59歳	0.0	9.1	3	39.4	45.5	3
	60歳～69歳	0.0	5.5	2.8	33.3	52.8	2.8
	70歳以上	0.0	11.1	0	22.2	33.3	11.1
	全体	0.6	5.2	2.9	41.3	37.2	8.7
男性	20歳～29歳	0.0	3.7	11.1	33.3	33.3	0.0
	30歳～39歳	0.0	7.1	3.6	42.9	35.7	0.0
	40歳～49歳	0.0	3.8	3.8	57.7	30.8	0.0
	50歳～59歳	0.0	4.0	4.0	52.0	36.0	0.0
	60歳～69歳	0.0	0.0	5.4	32.4	54.1	5.4
	70歳以上	0.0	4.0	4.0	28.0	52.0	12.0
	全体	0.0	3.6	5.4	40.5	41.1	6.5

年代別でみてみると60歳以上の半数以上が「中斷再就職型」を支持しているが、30代、40代の半数以上は「職業継続型」を支持されている。性別でみると、男女とも「職業継続型」を支持する人割合は20代から40代が高く、高齢になるにしたがって「中斷再就職型」を支持する人の割合が高くなる傾向である。

問15 あなたは、女性が結婚・出産後も職業を持ち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで） (%)

	全体	女性	男性
1. 賃金の男女格差を改	7.7	6.0	9.6
2. 昇進・昇格の男女格差を改める	5.3	3.7	7.0
3. 残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない	20.9	22.0	19.7
4. 育児休業や短時間制度などの仕事と家庭の両立ができる制度を充実する	27.0	27.3	26.9
5. 男性の家事・育児・介護等への参加を促すための啓発をする	14.5	16.5	12.5
6. 結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性の為の再雇用制度を普及、促進する	22.2	22.2	22.1
7. その他（具体的に）	0.7	0.7	0.7
無回答	1.6	1.6	1.4

女性が就業を継続するためには、「育児休業や短時間制度などの仕事と家庭の両立ができる制度を充実する」の回答が最も多く、次いで「結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及・促進する」、「残業や休日出勤ができないことで不利益な扱いをしない」となっている。

問16 男性の育児休業取得率が低い理由は何だと思いますか。(〇は2つまで)

※男性の育児休業取得率は、2.63% (厚生労働省：平成23年度雇用均等基本調査より) (%)

	全体	女性	男性
1. 周囲に取った男性が少ないから	11.0	10.9	11.0
2. 職場に取りやすい雰囲気がないから	25.3	25.3	25.2
3. 仕事が忙しいから	8.6	9.0	8.3
4. 取ると仕事で周囲の人に迷惑がわかるから	22.9	20.9	25.2
5. 人事評価や昇給に影響があるから	9.4	10.0	9.0
6. 休業補償が十分でないので経済的に困るから	14.5	17.1	11.6
7. 育児・介護は女性のほうが向いているので、男性が取る必要はないから	4.1	3.4	5.0
8. その他 (具体的に)	0.8	0.6	1.0
無回答	3.4	2.8	3.7

男性の育児休業取得率が低い理由としては、「職場に取りやすい雰囲気がないから」との回答が男女とも最も多いが、男性は同率で「取ると仕事で周囲の人に迷惑がわかるから」と回答している。

5 政策決定への参画について

問17 近年、女性の社会進出が進みつつあるものの、地区や自治会の長、審議会委員や議員等にはまだ女性が少ないのが現状です。このような政治や行政における政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。(〇は3つまで) (%)

	全体	女性	男性
1. 男性優位の組織運営	18.8	17.8	20.0
2. 家族の支援・協力が得られない	11.1	12.5	9.6
3. 女性の能力開発の機会が不十分	10.1	9.0	11.4
4. 女性の活動を支援するネットワークの不足	8.0	7.3	8.8
5. 家庭、職場、地域における性別役割分担や性差別の意識	12.6	11.0	14.0
6. 女性の側の積極性が十分でない	19.2	20.1	18.5
7. 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	17.7	20.1	15.1
8. その他 (具体的に)	0.6	0.5	0.8
無回答	1.9	1.7	1.8

女性の参画が少ない理由としては、女性は「女性の側の積極性が十分でない」、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」が最も多いが、男性は「男性優位の組織運営」と回答した割合が最も多い。

問18 女性があまり進出していない分野に女性の進出を進めていくために、どのような措置をとるのがよいと思いますか。(〇は3つまで) (%)

	全体	女性	男性
1. 政党が、選挙の候補者に一定の割合で女性を含めるようにする。	6.3	8.7	4.1
2. 国や地方自治体の審議会・委員会の委員などに女性を優先的に任命する。	7.1	5.3	8.8
3. 国や地方自治体が、公共事業の発注にあたって女性を積極的に活用する企業などを優遇する。	6.7	6.4	7.1
4. 国や地方自治体が、女性を積極的に活用する企業などに助成を行ったり、税を軽減したりする。	7.8	8.7	6.8
5. 国や地方自治体が、職員の採用や管理職への登用などで女性の数や比率を定める割当制を設けるようにする。	11.1	11.5	11.0
6. 国や地方自治体が自主的に、女性職員の採用・登用・教育訓練などに目標を設けたり、女性職員の進出を促す計画を策定する。	18.0	16.5	19.5
7. 企業が、社員の採用や管理職への登用などで女性の数や比率を定める割当制を設けるようにする。	7.0	5.9	8.2
8. 企業などが自主的に、女性社員の採用・登用・教育訓練などに目標を設けたり、女性社員の進出を促す計画を策定する。	21.5	21.2	21.9
9. 理工系などの女性の少ない大学の学部への進学を促すため、啓発や情報提供などの支援を行う。	4.0	2.8	5.2
10. 女性の起業家に対し、融資などの支援を行う。	4.8	6.1	3.6
11. その他	1.4	1.4	1.4
無回答	4.3	5.5	2.4

女性の社会進出のためには、「企業などや国・地方自治体が自主的に、女性の採用・登用・教育訓練などに目標を設けたり、女性社員(職員)の進出を促す計画を策定したりする」ことを挙げる回答が多くなっている。

6 人権への配慮について

問19 あなたは、次の事柄について、女性の人権が尊重されていないと感じますか？（〇は1つずつ）（％）

		人権が尊重されていないと感じる	どちらともいえない	そうは感じない	無回答
①「女社長」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉	全体	14.0	41.6	40.4	4.0
	女性	15.7	43.6	36.6	4.1
	男性	12.5	39.3	45.2	3.0
②女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	全体	5.2	38.7	51.7	4.4
	女性	6.4	35.5	53.5	4.6
	男性	4.2	41.7	51.2	2.9
③女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を内容に関係なく使用した広告など	全体	14.5	49.7	31.7	4.1
	女性	18.0	50.0	27.9	4.1
	男性	10.7	50.0	36.3	3.0
④女性のヌード写真などを掲載した雑誌	全体	20.1	45.6	29.7	4.6
	女性	24.4	47.7	22.1	5.8
	男性	15.5	44.0	38.1	2.4
⑤職場におけるセクシャル・ハラスメント（性的いやがらせ）	全体	71.5	18.6	5.2	4.7
	女性	76.7	14.5	4.1	4.7
	男性	67.3	22.6	6.5	3.6
⑥家庭内での夫から妻への暴力（酒に酔ってなぐるなど）	全体	75.0	15.4	4.7	4.9
	女性	76.7	13.9	4.7	4.7
	男性	74.4	16.7	4.7	4.2
⑦女性に対するストーカー（つきまとい行為）	全体	74.7	15.9	4.7	4.7
	女性	78.5	14.5	2.9	4.1
	男性	72.0	17.3	6.5	4.2
⑧痴漢行為	全体	79.7	12.5	2.9	4.9
	女性	83.1	9.9	2.9	4.1
	男性	77.4	14.9	3.0	4.7
⑨売春	全体	66.6	22.7	5.2	5.5
	女性	72.7	18.6	3.5	5.2
	男性	61.3	26.8	7.1	4.8

「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」、「家庭内での夫から妻への暴力」、「女性に対するストーカー」、「痴漢行為」、「買春」といった主に身体に対する行為に関しては人権が尊重されていないと感じる人の割合が高いが、「『女社長』、『未亡人』のように女性にだけ用いられる言葉」や「女性の容ぼうを競うミス・コンテスト」など言葉や視覚的な表現をしているものに関しては人権が尊重されていないと感じる人の割合は低くなっている。

問20 あなたは、あなたの夫や妻又は恋人が、次のようなことをした場合、それを暴力だと思いますか。（〇は1つずつ）（％）

		どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない	無回答
①大声でどなる	全体	18.9	64.8	12.8	3.5
	女性	26.8	58.7	12.2	2.3
	男性	11.3	72.0	13.7	3.0
②「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性（かいしょう）なし」という	全体	53.8	34.6	7.6	4.0
	女性	62.8	30.2	3.5	3.5
	男性	45.8	39.3	11.9	3.0
③交友関係や電話を細かく監視する	全体	40.1	40.7	14.2	5.0
	女性	44.8	40.1	10.5	4.6
	男性	36.3	41.7	18.5	3.5
④生活費を渡さない	全体	66.9	20.6	8.1	4.4
	女性	69.8	20.3	5.2	4.7
	男性	65.5	20.8	11.3	2.4
⑤何でも勝手に決め、命令する	全体	57.0	33.1	5.5	4.4
	女性	67.4	23.3	5.2	4.1
	男性	47.6	43.4	6.0	3.0
⑥何を言っても無視し続ける	全体	64.2	25.0	5.8	5.0
	女性	68.6	22.7	4.1	4.6
	男性	61.3	27.4	7.7	3.6
⑦見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	全体	66.9	18.9	9.9	4.3
	女性	69.8	19.2	7.0	4.0
	男性	65.5	18.5	13.1	2.9
⑧いやがっているのに性的行為を強要する	全体	77.0	16.3	2.0	4.7
	女性	80.2	14.5	0.6	4.7
	男性	75.0	18.5	3.6	2.9

⑨医師の治療が必要とならない程度の暴行をする	全体	83.7	11.0	1.2	4.1
	女性	85.5	9.9	0.6	4.0
	男性	83.3	12.5	1.8	2.4
⑩医師の治療が必要となる程度の暴行をする	全体	93.0	2.9	0.0	4.1
	女性	93.0	2.9	0.0	4.1
	男性	94.6	3.0	0.0	2.4
⑪命の危険を感じるくらいの暴行をする	全体	94.2	1.5	0.0	4.3
	女性	93.6	2.3	0.0	4.1
	男性	96.4	0.6	0.0	3.0

配偶者等からの暴力について、暴行や性的行為の強要など、直接身体へおよび行為については、どんな場合も暴力にあたると思われる人の割合が高くなっている。精神的な暴力については、身体への行為に比べると暴力と感じる人の割合は比較的低くなっている。

問21 あなたは、あなたの夫や妻又は恋人から、次のようなことをされたことがありますか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. 大声でどなられる	20.0	22.5	17.4
2. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性(かいしょう)なし」といわれる	3.7	4.7	2.6
3. 交友関係や電話を細かく監視される	4.6	4.2	5.1
4. 生活費を渡さない	2.1	3.4	0.5
5. 何でも勝手に決められ、命令される	3.4	3.8	3.1
6. 何を言っても無視され続ける	4.6	3.0	6.7
7. 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	0.7	1.3	0.0
8. いやがっているのに性的行為を強要される	3.0	5.5	0.0
9. 医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける	3.2	4.2	2.1
10. 医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	0.5	0.8	0.0
11. 命の危険を感じるくらいの暴行を受ける	0.7	0.4	0.5
12. その他(具体的に)	0.9	1.3	0.5
13. 1～12のような経験は全くない	42.1	39.4	45.6
無回答	10.5	5.5	15.9

配偶者等から何らかの暴力を受けた経験があると回答した人の割合は、女性では5割、男性では3割を超えている。暴力の種類では、「大声でどなられる」経験があると回答した人の割合が最も高い。

〈問21で1～12とお答えの方におたずねします。〉

→それ以外の方は、問23へお進みください。

問22 あなたは、問21であげたようなあなたの夫や妻又は恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. 警察に連絡・相談した	3.0	3.8	1.9
2. 人権擁護委員に相談した(法務局、地方法務局の人権相談窓口を含む)	0.8	1.3	0.0
3. 県の女性相談所、女性相談員等に相談した	0.0	0.0	0.0
4. 新富町役場の相談窓口にご相談した	1.5	0.0	1.9
5. 男女共同参画センター相談員に相談した	0.0	0.0	0.0
6. その他の公的な機関に相談した	1.5	2.5	0.0
7. 民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)に相談した	0.0	0.0	0.0
8. 医師に相談した	0.8	1.3	0.0
9. 家族に相談した	13.5	19.0	5.7
10. 友人・知人に相談した	21.1	22.8	18.9
11. どこ(だれ)にも相談しなかった	42.8	36.7	52.8
12. その他	3.0	2.5	3.8
無回答	12.0	10.1	15.0

配偶者等から暴力を受けた時の相談先については、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が最も多く、相談した人では「友人・知人に相談した」、「家族に相談した」の順となっている。

〈問22で11とお答えの方におたずねします。〉

→それ以外の方は、問24へお進みください。

問23 あなたが、あなたの夫や妻又は恋人からの暴力を受けたときに相談しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから	5.7	8.0	2.7
2. 恥ずかしくてだれにもいえなかったから	1.1	0.0	2.7
3. 相談してもむだだと思ったから	12.7	18.0	5.4
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	1.1	2.0	0.0
5. 担当者の言動により不快な思いをと思ったから	1.1	2.0	0.0
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	7.0	10.0	2.7
7. 世間体が悪いから	2.3	4.0	0.0
8. 他人を巻き込みたくなかったから	3.4	4.0	2.7
9. そのことについて思い出したくなかったから	1.1	2.0	0.0
10.自分にも悪いところがあると思ったから	18.4	14.0	24.3
11.相談するほどのことでもないと思ったから	41.4	32.0	54.1
12.その他(具体的に)	3.5	2.0	5.4
無回答	1.2	2.0	0.0

どこ(だれ)にも相談しなかった理由としては、「相談するほどのことでもないと思ったから」との回答が最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」、「相談してもむだだと思ったから」となっている。

〈すべての方におたずねします。〉

問24 あなたは、あなたの夫や妻又は恋人に対して、次のようなことを行ったことがありますか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. 大声でどなる	22.4	18.8	26.4
2. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性(かいしょう)なし」という	2.3	0.5	4.1
3. 交友関係や電話を細かく監視する	1.8	2.1	1.6
4. 生活費を渡さない	1.0	1.6	0.5
5. 何でも勝手に決め、命令する	2.1	2.1	2.1
6. 何を言っても無視し続ける	3.9	5.2	2.6
7. 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	0.3	0.5	0.0
8. いやがっているのに性的行為を強要する	1.3	0.5	2.1
9. 医師の治療が必要とならない程度の暴力を行う	1.8	1.0	2.6
10.医師の治療が必要となる程度の暴力を行う	0.0	0.0	0.0
11.相手の命の危険を感じるくらいの暴力を行う	0.0	0.0	0.0
12.その他(具体的に)	0.5	0.5	0.5
13.1~12のような経緯は全くない	48.8	55.7	41.5
無回答	13.8	11.5	16.0

女性の3割強、男性の4割弱の人が配偶者等に対して何らかの暴力を行ったことがあるとの回答している。行った暴力の種類では、男女とも「大声でどなる」が最も多く、次いで女性では「何を言っても無視し続ける」、男性では「誰のおかげで生活できるんだとか甲斐性(かいしょう)なし」となっている。

問25 テレビ、新聞、雑誌等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのようにお考えですか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	16.6	15.5	17.7
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	18.7	19.5	18.1
3. 女性に対する犯罪を助長するおそれがある	15.4	16.4	14.4
4. そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	26.2	28.7	23.5
5. 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている	9.6	7.9	11.6
6. その他(具体的に)	1.2	1.3	1.0
7. 特に問題はない	8.5	7.3	10.1
無回答	3.8	3.4	3.6

メディアにおける性・暴力表現については、「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」との回答が最も多く、次いで「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」、「女性に対する犯罪を助長するおそれがある」となっている。

問26 あなたは、女性が生涯にわたり心身ともに健康であるために、特にどのようなことが大事だと思いますか。(〇は3つまで)
(%)

	全体	女性	男性
1. 女性の心や身体の健康の問題に関する専門の相談窓口を整備する	18.2	17.1	19.7
2. 女性の医師が診療を行う「女性専用外来」を充実させる	20.3	23.5	16.7
3. 女性特有の病気や性感染症に対する理解を広げるための広報を行う	7.3	5.9	8.6
4. 学校教育の場で、男女平等の精神を基にした性教育を行う	15.6	16.1	14.8
5. 学校教育や地域社会で、薬物乱用防止の教育を行う	9.4	8.4	10.5
6. 女性が性生活について、主体的・総合的に判断する力をつける	8.4	8.4	8.6
7. 不妊に関する専門の相談体制を充実させる	5	5.9	3.8
8. ライフステージに応じた健康づくりの講習を行う	12.1	11.9	12.7
9. その他(具体的に)	1.5	1	2.2
無回答	2.2	1.8	2.4

「女性の医師が診療を行う『女性専用外来』を充実させる」ことが必要との回答が最も多く、次いで「女性の心や身体の健康の問題に関する専門の相談窓口を整備する」、「学校教育の場で、男女平等の精神を基にした性教育を行う」となっている。

7 男女共同参画施策について

問27 あなたは、次にあげる言葉をご存知ですか。(〇は1つずつ)

(%)

		よく知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
①女子差別撤廃条約	全体	6.7	37.5	51.5	4.3
	女性	7.0	33.7	55.2	4.1
	男性	6.5	41.1	48.2	4.2
②男女共同参画社会基本法	全体	17.2	55.8	22.7	4.3
	女性	16.9	51.7	25.6	5.8
	男性	17.9	60.1	19.6	2.4
③配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)	全体	37.2	52.6	6.4	3.8
	女性	39.0	54.1	2.9	4.0
	男性	35.7	51.2	10.1	3.0
④男女雇用機会均等法	全体	38.1	51.5	6.7	3.7
	女性	34.9	54.7	6.4	4.0
	男性	41.7	48.2	7.1	3.0
⑤育児・介護休業法	全体	39.0	51.5	6.1	3.4
	女性	43.6	46.5	5.8	4.1
	男性	34.5	56.5	6.5	2.5
⑥女性のエンパワーメント(女性が力をつけること)	全体	5.2	34.9	55.8	4.1
	女性	4.7	40.1	51.2	4.0
	男性	6.0	29.2	61.3	3.5
⑦リプロダクティブヘルス/ライツ(性と生殖に関する女性の健康・権利)	全体	3.5	14.0	78.5	4.0
	女性	4.7	15.7	75.6	4.0
	男性	2.4	11.9	82.1	3.6
⑧固定的性別役割分担意識	全体	2.0	15.4	77.3	5.3
	女性	2.3	16.9	76.7	4.1
	男性	1.8	13.7	79.2	5.3
⑨積極的改善措置(ポジティブ・アクション)	全体	4.4	21.2	69.2	5.2
	女性	6.4	20.3	68.6	4.7
	男性	2.4	21.4	70.8	5.4
⑩アンパイドワーク(無償労働)	全体	2.6	16.3	76.5	4.6
	女性	2.3	13.4	80.2	4.1
	男性	3.0	19.6	72.6	4.8
⑪ジェンダー(社会的・文化的につくられた性別)	全体	11.6	26.2	57.0	5.2
	女性	14.5	26.7	54.7	4.1
	男性	8.9	25.6	59.5	6.0

「育児・介護休業法」、「男女雇用機会均等法」、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」については、「よく知っている」及び「聞いたことがある」人の合計が9割前後と何らかのかたちで認知している人の割合が高いが、その他の言葉では「ジェンダー」、「男女共同参画社会基本法」以外は「よく知っている」人の割合は1割未満となっている。

〈問27の①～⑩で1つでも1よく知っている、2聞いたことがあるとお答えの方におたずねします。〉

問28 あなたは、①～⑩の言葉をどのような場面で見たり聞いたりしましたか。(〇はいくつでも) (%)

	全体	女性	男性
1. 県や市町村が開催する研修会、フォーラム等	10.3	11.5	9.1
2. 民間団体が開催する研修会、フォーラム等	4.4	6.8	1.8
3. 新聞・雑誌・テレビ等のメディア	55.4	54.0	57.6
4. 県や町の広報誌	15.8	15.1	16.9
5. その他(具体的に)	5.9	6.3	5.5
無回答	8.2	6.3	9.1

男女共同参画に関する言葉を見聞きした場所としては、「新聞・雑誌・テレビ等のメディア」が最も多く、次いで「県や町の広報誌」となっている。

問29 あなたは、「男女共同参画社会」を形成していくために、今後、町はどのようなことに力を入れたら良いと思いますか。

(〇は3つまで)

(%)

	全体	女性	男性
1. 学校教育における男女平等教育の推進	14.5	13.3	16.1
2. 女性の社会的な自立を目指す講座等の推進	5.8	5.8	5.9
3. 男女共同参画社会づくりについての広報・啓発活動の充実	8	7	9
4. 福祉、健康、労働などの相談業務	7	7.2	6.6
5. 働きやすい職場環境の整備	23.6	25.6	21.7
6. 行政の審議会に女性委員を増やすなど、女性の行政への参画の推進	5.8	5.6	6.1
7. 男女共同参画に関する情報提供や交流、相談、教育などを行う施設の充実	7.6	7.2	7.8
8. 保育・介護に関する福祉の充実	17.4	20	14.4
9. 地域活動やボランティア活動の支援	3.1	3.1	3.2
10. 市町村の推進体制の充実	4.8	3.1	6.6
11. その他	0.3	0.2	0.4
無回答	2.1	1.9	2.2

男女共同参画社会の実現に向けて県が推進すべき施策としては、「働きやすい職場環境の整備」との回答が最も多く、次いで、「保育・介護に関する福祉の充実」、「学校教育における男女平等教育意識の推進」となっている。

新富町男女共同参画計画

策定 平成25年3月

発行 新富町まちおこし政策課

〒889-1493

宮崎県児湯郡新富町大字上富田7491番

TEL (0983)-33-6012 FAX(0983)-33-4862

<http://www.town.shintomi.miyazaki.jp/>